

## 都庁の武蔵工大の同窓会（都庁柏会）の会合報告

樋口友行 平成3年卒

所属 東京都東京港建設事務所オリンピック・パラリンピック施設整備課長

令和になって初めての都庁柏会が開催されました

東京都庁では多くの武蔵工業大学・東京都市大学卒業生が技術職員として、都市計画、道路、港湾、河川、交通、水道、下水道など様々な分野で活躍しています。一方、都庁は組織が大きく、職員同士の深い交流を築くことが、なかなか難しいのが現実です。

そこで、都庁では同窓会として「都庁柏会」なる組織を設け、お互いの親睦を深めるために毎年5月に懇親会を開催しています。なお、会員数は本年3月に卒業した新人4名を加えて、総数167名を数えます。

令和初の都庁柏会懇親会は5月18日（金）西新宿で開催されました。参加人数は41名で、大学からは皆川副学長と丸山教授にお越し頂きました。

懇親会は相場水道局技監（昭和61年土院卒）の乾杯で始まり、先生方を囲んでそれぞれの近況報告と苦労話、そして学生時代の話などで大変盛り上がりしました。

先生方からは「今、大学では学部学科の大きな改編を構想している。東京都市大学は絶えず「進化」を続けている。」とのお話がありました。（大学HPでは「新加（SHINKA）」と記載されています。）

最後は吉田水道局水質センター長（昭和59年土卒）の三三七拍子の締めでお開きとなりました。

東京都庁では2020東京オリンピック開催を間近に控えており、それぞれの会員は大変忙しい中ですが、参加者同士が親睦を深め、皆が楽しいひとときを過ごすことができました。

